

第1回 飯山市学校・保育園適正規模等検討委員会 議事録

日時：令和元年7月11日(木) 午後6時30分
場所：飯山市役所4階全員協議会室

1 開 会

2 委嘱書交付

3 教育長あいさつ

委員の皆さま、こんばんは。

雨降りの中、又お仕事でお疲れの中、お集まりいただきありがとうございます。

保育園・学校課題検討委員会からの答申を受けまして、いよいよ答申を尊重しながら、飯山市の保育園を含めた小学校、中学校の適正規模等配置についての検討委員会を本日からスタートします。

第1回目の本日は、資料等検討材料をお示ししての説明が主になるかと思われませんが、市としまして、基本的に子どもたちにとって「未来は今である」ということです。大半の子ども達が高校卒業までは飯山で過ごすわけです。しかし飯山市の人口は2万人を割っています。当然、背景には少子化があるわけですが、少子化は保育園から小学校、中学校へと波及するわけです。教育というのは、誰もが小学校、中学校、高校と教育を受けていますので、それぞれの考え・見解をお持ちで、それだけに様々な教育問題を検討するときに絶対的な正解というものはないと思っております。こちらにいらっしゃる委員の皆さまから多くの意見をいただき、議論いただく中で、みんなが納得する回答を探していく事がこの課題検討委員会の大きな方向性になると思っております。

今回の検討委員会では、できるだけ現在、子育てをされている皆さま、これから小学校へ進学していく保育園保護者の皆さまのご意見を頂戴し、尊重したく、ご参集いただきました。今、PTA等の会長をされているなかで、学校が抱える様々な課題にもお気づきのことと思います。そのような中で、率直にご意見をお出しいただき、飯山市の子ども達が、よりよい環境の中で教育を受けてもらいたいと思っております。私自身、野沢温泉村の東大滝というところで小学校時代を過ごしました。そこは分校で、男子4人で6年間を過ごしました。その後、当時の飯山中学校へ進学したわけですが、中学校はいきなり5クラスで、一クラス40人。小学校分校時代の同級生は男子のみでしたので、不登校になるくらい悩みました。多様な同級生が大勢いたわけです。小学校の時は4人ですから、お互いに何でも理解できていたのが、今、振り返ると葛藤や意見などのぶつかり合いが、ほとんどなかったことが、中学で悩んだ理由でもあると思います。勉強の面でいいますと、ピラミッド型の人間関係もあったかと思っております。できるだけ多様な友達と、大勢の先生のもとで、というの

は多様な大人の中で、成長していくという事が、子供の将来にとって良い意味での影響を受けると思っております。多様な大人というのは、いろんな大人がいます。ある先生に救われなくても、別の先生に救われる、そうした要素もあると思います。ですから今の飯山市の小中学校の環境がベストではないと私自身は捉えております。今、飯山市内の保育園、小中学校で過ごす子どもたちにとって、よりよい環境というものが、どのようなものであるのかという事を、皆様の率直なご意見をお聞きしながら、あるべき回答につなげていければと思っております。いずれにしましても、こんなこと言ったらまずいだろうかということはなく、いろいろなところで感じた考えをお話いただき、よりよい検討委員会となりますようご協力いただき、よりよい答申につなげていけたらと思っております。よろしく願いいたします。

4 自己紹介

5 委員長・副委員長互選

委員長： 佐藤正行 様（前区長会協議会長）

副委員長： 池田澄子 様（民生児童委員会会長）

6 委員長・副委員長あいさつ

委員長)

ただいまご指名により委員長を務めることになりました佐藤です。昨年度区長協議会長を務めまして、前身の保育園学校課題検討委員会にも参集されましたので、経過は若干、承知しておりますが、学校について大変不慣れといいますが、教育関係は精通しておりませんので大変だなと感じております。報道にも、この会議が開始する記事がありまして、責任も感じております。

いずれにしましても、皆様と副委員長のご協力をいただきながら進めて参りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

副委員長)

民生児童委員協議会長ということで、この会に参加させていただいております。

特に民生委員は保育園の子どもから、小・中学生、そしてお年寄りまで皆様と共にという役回りでございますが、課題検討委員会に参加させていただいたうえで、保育園あるいは小学校、中学校の集いに参加させていただいて、あらためて、人間的な基礎的な学力、コミュニケーション能力、その他を学ぶには、保育園も学校も本当に重要な立場にあると思っております。

私は神奈川県と比較的大きな小中学校で学んだ経緯がありますので、一校で何十人という小学校があるということに大変驚いております。ただ、私は格別に飯山市が大好きですので、飯山市

に生まれ育ち、そして学んでいく子どもたちのよい環境のためのお手伝いが出来れば、そして委員長を手伝いながら皆様と検討を重ねて参りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

7 諮問書交付

8 会議事項

(1) 会議の運営について

(①～③事務局から説明)

①会議、議事録の公開について

②検討委員会設置要領について

③今後の予定について

(2) 会議資料の説明

(事務局から説明)

委員長)

一つよろしいですか。前身の検討委員会からの答申文書が資料として添付されておりまして、その答申の中に「望ましい教育環境」として小学校は「1学級 20人以上、1学年 2学級以上」とありますので、そうすると最低1学年 40人、中学校は「1学級 30人以上、1学年 2学級以上」とされておりまして1学年 60人が望ましい、ということになりますよね。この文面をいただいて、現状、先ほど説明があった資料を見ますと、すでに厳しい状況にあるわけです。そのあたり、この検討委員会では、どう捉えたらよいのか、ということをお尋ねしたいと思います。

教育長)

「望ましい」ということは絶対的なものではないということ。できるだけ、その環境にしていくのがふさわしいが、皆様に検討いただいて、当然いろいろなご意見がございますから、これを一つの台にして考えていただければと思います。絶対的なものではないという事です。

委員長)

「絶対的なものではない」ということで、明文化されてはいますけれども、検討の中では、さらにそれをどうするかということを考えていければと思いますが、よろしくお願いいたします。それから、お願いと言いますか、小中学校の変遷の表がありますよね。これ、小中学校の統廃合時の人数を載せられないでしょうか。数字が見えれば、参考になるところもあるのかと思います。

事務局)

この場での明言はできませんが、市の統計書などで拾えるところがあるか、確認してみたいと思います。

委員長)

他にいかがでしょうか。

A 委員)

どの保育園がどの小学校へ行って、どの小学校がどの中学校へ行くというような変遷ができればありがたいと思います。

事務局)

現状のものでよいという事ですよ

A 委員)

はい。

委員長)

検討にあたり、こうした資料が欲しいというのがありましたら、またご意見いただけたらと思います。

9 その他

- ・ 次回(第2回)委員会 事務局で日時調整後、通知

10 閉会

資料

- 【資料1】 飯山市学校・保育園適正規模等検討委員会設置要領・・・1
 - 【資料2】 飯山市学校・保育園適正規模等検討委員会委員名簿・・・2
 - 【資料3】 諮問書(写)・・・3
 - 【資料4】 飯山市学校・保育園適正規模等検討委員会の進め方(案)・・・4
 - 【資料5】 行政区別児童生徒数・・・5
 - 【資料6】 小中学校児童生徒数の推移・・・6
 - 【資料7】 保育園等園児数の推移・・・17
 - 【資料8】 飯山市の保育園学校統廃合変遷図・・・18
- ・ 飯山市教育大綱
 - ・ 課題検討委員会答申書

